

# 令和5年度版 学びのみなもと

——効果的な学習方法と施設の利用について——



## 北杜市立白州中学校

〒408-0315 北杜市白州町白須 1920 番地

TEL 0551-35-2534 FAX 0551-35-2876

ホームページ <http://hokutoed.main.jp/hakushujhs/>

E-mail [main@hakushu-jhs.city-hokuto.ed.jp](mailto:main@hakushu-jhs.city-hokuto.ed.jp)

年	組	番
氏名		

## 《 目 次 》

学習に際して	1
国語科	3
社会科	4
数学科	5
理科	6
音楽科	7
美術科	8
保健体育科	9
技術・家庭科	10
英語科	11
道徳・総合・学活(特活)	12
話し合いを充実させるために	14
図書館の利用について	15
保健室の利用について	16
学校給食について	17
相談室を利用しよう	19



## 私たち白州中学校生徒のめざすもの 学校教育目標

豊かな心，自ら学ぶ力と

たくましく生きる力を育む白州中教育

自ら考え，自ら学ぶ生徒

情緒豊かで，思いやりのある生徒

自分を生かし，互いに高めあう生徒

勤労を尊び，人の役に立つ生徒

心も体も健康で，たくましい生徒

高い志を持ち，最後まであきらめずにやりぬく生徒

## 学習に際して 前提（心構え）

### 1) すべてのスタートは「やる気」から

知識や技術を習得するためには試行錯誤して追求していくような意欲が最も大切です。どの教科にも評価の観点には【主体的に学習に取り組む態度】があるのです。



### 2) 授業は生徒と先生で創り出すもの

きみたちは「観客」ではなく、授業の「創造者」です。自分と仲間と考えを出し合い、答えを導き出すことで新しい発見が生まれます。

### 3) わからないことを放っておかない

「わからない」ということがはっきりしたならば、それは「わかる」ということの入口に立ったこととなります。勇気を出して、友達や先生に質問してみましょう。

### 4) 勉強は体と五感全部を使うもの

書いて覚える、確かめることが「覚える」ことの第一歩です。また、声に出して読んだり、その時の自分の声を耳で聞いたりするのが「学習する」ということなのです。実物にふれ、体を動かすことによって記憶が作られていきます。

### 5) 家庭学習の習慣を身につけよう

学校で、みんなで机を並べて勉強するばかりが学習ではありません。基本は「自主学習」です。家庭での学習習慣を確実に身につけましょう。



### 6) 宿題は必ずやってくる

各教科等から出された宿題は、その日の授業の復習や次の時間の学習に必要な情報がたくさん入っています。課題に挑戦する気持ちで取り組みましょう。わからないところがあっても、ひととおりにやってみることが大切です。

### 7) 授業の準備はしっかりとしよう

授業を受ける準備ができていることはとても大切です。教科書やノートはもちろんですが、授業で使う道具や材料の準備は、しっかりとすることが大切です。これも心構えの一つです。

## 授業の受け方

**休み時間は** …………… 「次の授業の準備の時間」です。特別教室への移動はすばやく行い、移動先で始業のチャイムを聞くようにしましょう。本校のチャイムは10秒間鳴ります。先生が来る前に、教科書を開いてどこを学習するのかを確かめる。それが「わかること」への近道です。

**正しい姿勢** …………… 常に心掛けていけばいいのですが、授業中、時々背筋を伸ばしてみましょう。成長期の体にいいばかりでなくやる気が増し、学力アップにつながります。

**ノートの内容** …………… 先生が書いた板書を写し取る。聞いたこと（先生の話や友達の発言）で大事なポイントをメモする。自分の考えを書き加える。家庭学習で、自主学習ノートに振り返る。色鉛筆やマーカーで、ポイントを見つけやすくする。

参考：『自主学習ノートへの挑戦』（東洋館出版社）

**ノートの活用** …………… 「さしすせそ」学習

- 「さ」 さがす(探す) ⇒ 問題の明確化
- 「し」 しらべる(調べる) ⇒ 調査、実験
- 「す」 すじみちを立てて考える(筋道) ⇒ 仮説
- 「せ」 せいりしてまとめる(整理) ⇒ 整理統合
- 「そ」 そうかどうか試す ⇒ 検証確認



## 家庭学習の大切さ

**家庭学習の時間を確保します**……………まずは、家庭学習の開始時刻、目標の学習時間、就寝時刻、起床時刻を設定します。一日の生活のリズムに家庭学習の時間を入れます。決められた時間に、決められた場所で毎日家庭学習を行う習慣を身につけることが大切です。定期テストや学力テストの前になって急に「さあやるぞ！」と思ってもなかなか手につくものではありません。高校進学等に向けて日頃からの習慣が大切になります。

家庭学習で何を学習すればよいのでしょうか。以下の3点です。

- ①毎日学校から出された宿題は、帰宅後すぐに必ず取り組む。
- ②夕食時に、今日の学習内容について話題にして、会話をする。
- ③今日の授業を振り返り、できたらノートにまとめる。

**ノートを活用することについて**（自分で工夫して活用してみよう）

- ①繰り返しの学習（授業の振り返り）
- ②課題・疑問について、調べてまとめる学習（活用・探究）
- ③学習を実社会に役立てる。（取材・体験）

などなど、時間を有効に使って学びを深めていくために活用してもらいたいです。

# 国語科の学習

## 1 学習の目標

- (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 2 学習内容

- 「言葉の特徴や使い方に関すること」… 文法、敬語、慣用句、ことわざ、故事成語、漢字など
- 「情報の扱い方に関すること」 …… 情報と情報との関係、情報の整理
- 「我が国の言語文化に関すること」 …… 古典、言葉の由来や変化、書写、読書など
- 「話すこと・聞くこと」 …………… スピーチ、発表、発言、話し合い、討論、暗唱など
- 「書くこと」 …………… 感想文、意見文、批評文、詩、短歌、俳句、随筆など
- 「読むこと」 …………… 文学的文章（散文、韻文、古文、漢文など）  
説明的文章（説明文、論説文、評論文、随筆など）

## 3 学習方法

- ① 予習 ・新しい単元（教材）に入る時には、一度通して読み、読めない漢字、意味がわからない語句を確認して授業に臨みましょう。音読が効果的です。
- ② 授業中 ・ノートを工夫してとりましょう。（黒板に書かれたことだけでなく、先生や友達の発言やそのとき自分が考えたこと、後で調べようと思ったことなどを記録しておくことが重要です。）  
・教師の発問を聞き、積極的に発言しましょう。また、友達の発言を自分の考えと比較しながら聞くことで、自分の考えをより深めることができます。
- ③ 復習 ・授業の内容を振り返り、確認しましょう。短くポイントを書き出すと理解が深まります。  
・ワークに取り組みましょう。複数回解くことを勧めます。
- ④ その他 ・進んで本や新聞を読みましょう。（近代小説など難解な文章にも挑戦しましょう。）  
気になった言葉は、辞書やタブレット等を使って意味調べをしましょう。短文を作るなどして、使えるようにするとより効果的に身に付きます。  
・10～15分くらいの隙間時間を見つけて、漢字を毎日練習しましょう。  
・普段から濃く読みやすい書字を心がけるため、鉛筆やシャープンの芯はHBかBが望ましいです。また、効果的に学習するために、赤・青ペンやマーカーペンをそろえておくとういでしょう。

## 4 評価のしかた

以下の3観点で評価します。

評価の観点	主な評価方法
「知識・技能」	定期テスト、漢字テスト、書写、読書 等
「思考・判断・表現」	定期テスト、授業プリント、論述やレポートの作成、文学的文章の創作、意見発表、話し合い活動 等
「主体的に学習に取り組む態度」	授業態度、発言、ノート及び学習シートへの記述、提出物 等

# 社会科の学習

## 1. 学習すること（内容）

- ① **地理的分野**  
地図について、世界のさまざまな地域の生活や環境について、また、世界の各地域や日本の各地域について、資料を使いながら学習します。
  - ② **歴史的分野**  
原始から現代までの日本の歴史を学習します。世界の歴史についても一部学習します。
  - ③ **公民的分野**  
人権、政治・経済のしくみ、国際社会に関することなどを学習します。
- ①は1～2年生で、②は1～3年生で、③は3年生で学習します。

## 2. 目標（めあて）

学習指導要領において、社会科の目標は以下のようになっています。（詳しくは授業で）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。

## 3. 評価方法

- ① **知識・技能**（社会的現象を理解する力、資料を読み取る力）（定期テスト・発表による評価 等）
  - ② **思考・判断・表現**（自分の考えや意見を書いたり発表したりする力）（定期テスト・レポート・発表による評価 等）
  - ③ **主体的に学習に取り組む態度**（学習に粘り強く取り組み、自分の学習状況を知り調整する力）（ノート・レポートによる評価 等）
- の3つの観点を総合的に見て評価します。

## 4. 学習への取り組み方

- ① **興味・関心を持ち、意欲的に授業を受けよう！**
  - ・ただなんとなく授業を受けていたのでは、学習したことが身につけません。
  - ・「なぜだろう？」「どうしてこの事件が起きたのだろう？」など、さまざまな事に興味や関心を持って授業に取り組みましょう。
- ② **予習・復習をしよう！**
  - ・授業の前には、次の授業の範囲の教科書をよみ、簡単に内容をつかんでおきましょう。そうすることで、授業に対する自分自身の「見通し」を持つことができます。また、授業後はノートをまとめたり、授業の「課題」に対する「まとめ」を考えるなど、「振り返り」を大切にしましょう。
  - ・この「見通し」と「振り返り」を大切にすることでより学習の効果を高めることができます。
- ③ **記録をノートに整理して書こう！**
  - ・黒板に書かれたことをそのまま写すのではなく、先生の話やメモを、復習するときに分かりやすいように「自分で工夫して」ノートに整理して書くことが大事です。
- ④ **振り返りを大事にし、自分の学習を調整しよう！**
  - ・学習を進めるなかで、「单元ごとの課題」を解決するために「自分がどのように学習を進めたらよいか・足りない知識は何か」ということを、毎回の授業後に振り返ります。毎回の振り返りから自分の学習状況を把握し、自分の学習を調整していきましょう。
- ⑤ **地図帳、資料集を活用しよう！**
  - ・地図で場所を確認したり、資料集の年表で時期を把握したりするなど、自分自身で確認作業をすることが大切です。
- ⑥ **問題を解いてみよう！**
  - ・学習後、その範囲の問題をとくとき、知識を定着させることが大切です。
  - ・家庭でもワークなどを活用し、自分で問題を解きましょう。間違えた語句はノートに何回か書いて覚えましょう。その際、教科書を何度も読み直し、学習した内容を確認しておきましょう。
- ⑦ **世の中の出来事に関心をもとう！**
  - ・テレビのニュース番組を見たり、新聞記事を見たりして、見聞を広めましょう。また、疑問に感じたことをインターネットで検索して確認したりしましょう。



# 数学科の学習

小学校では『算数』でしたが中学校では『数学』に変わります。これからみなさんが数学を学んでいくとき（勉強していくとき）の参考にしてください。

すでに自分にあった学習方法を身に付けている人は、その身に付けている方法をより一層工夫して学習をすすめてください。

数学が分からなくなったとき、自分の知らない何か特別なよい方法があってそれを知ると数学の理解がすすむと考えがちなのですが、残念ながら特別な方法はありません。

学ぶ、勉強していくことの大変さは、古今東西さまざまなことわざにもあるとおりです。どんなことわざがあるか調べてみてください。

## 数学の学び方

### (1) 分からなくなったところに戻ってもう一度学び直す。

もう一度やり直すことが最も効率的な学習方法です。それが小学校の3, 4年生の問題に戻ってしまったとしても、そこから根気よくやり直すことがわかるようになる近道です。ここで重要なのは「自分でやる」ということです。人からいくら丁寧に説明してもらっても自分でやったことにはなりません。あくまでも自分の手と頭脳を使って問題を解いていくことが大切です。小学校の学習内容で不安がある場合は休み中に復習しておいてください。

### (2) 使う参考書や問題集は1冊にする。

問題集を始めると最初のうちはできるのですがだんだん分からない問題が多くなります。こんな時もっと簡単な分かりやすい参考書や問題集がほしくなりますが結局同じ事になります。分からない問題にぶつかったらじっくり考えて、分かるまで粘ることです。2, 3日頑張っても分からなかったら先生に質問してみましょう。

### (3) 授業のあった日は必ず復習し、学習した内容ができるようにしておく。(家庭学習が大切)

数学では「分かる」と「できる」は大きく異なります。授業を聞いて分かったつもりになっていても実際に自分が解いてみると思うように解けないことはよくあります。それは解き方に慣れていないのが原因です。なれるまで何度も同じような問題を繰り返し解いて始めてできるようになるのです。



### (4) 評価について

#### 観点「知識・技能」

計算などの技能，基礎基本を理解しているかなど。(単元テスト，定期テスト 等)

#### 観点「思考・判断・表現」

発展問題の理解度，自分の考えをわかりやすく発表できる，筋道をたてて考えられるなど。

(単元テスト，定期テスト，授業中の発言，ノート 等)

#### 観点「主体的に学習に取り組む態度」

授業への取り組む姿勢，各提出状況など。(授業中の取り組みの様子，プリント，問題集 等)

の3つの観点を総合的に見て評価します。

# 理科の学習

## 1. 学習すること(内容)

### ①生物分野

- 1年 生物の世界
- 2年 生物の体のつくりとはたらき
- 3年 生命のつながり・自然界のつながり

### ②化学分野

- 1年 物質のすがた
- 2年 化学変化と原子・分子
- 3年 化学変化とイオン

### ③物理分野

- 1年 身近な物理現象
- 2年 電流とその利用
- 3年 運動とエネルギー

### ④地学分野

- 1年 大地の変化
- 2年 気象のしくみと天気の変化
- 3年 地球と宇宙

中学3年間で上記の内容をすべて学習します。興味がある分野もあれば、そうでない分野もあるかもしれません。でも、中学3年間ですべての分野をしっかり学習しましょう。そうすれば、卒業するときには、私たちの周りに広がる世界が、小学生の時とは少し違って見えるはず。理科の学習を通して、あなたの周りの世界の見え方を変えていきましょう。

## 2. 目標(めあて) 学習指導要領において、理科の目標は以下のようになっています。(詳しくは授業で)

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

## 3. 評価方法 次の3つの観点を総合的に見て評価します。

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
事項	学習過程を通して得た知識や技能を他の学習場面でも活用することができる。	知識や技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につける。	学習に粘り強く取り組み、自分の学習状況を知り調整しようとする。
評価	定期テスト・単元テスト・実験のパフォーマンステスト 等	定期テスト・単元テスト・実験レポート・発表 等	振り返りシート・ノート・レポート 等

## 4. 学習への取り組み方

### ①身のまわりの物や現象に興味を持つ

現代社会は先人達が科学的な実験や観察をして発見したことから成り立っています。だから、私たちの身の回りの物や現象と科学は大きく関係しています。普段使っている物や見える物に興味を持つことは、科学に興味を持つことにつながります。

日常の「なぜ？」を大切にしましょう。

### ②実験・観察を注意深く行う

理科の基本は、実験・観察です。ただ何となく実験・観察をするのではなく、実験器具の扱い方や観察のポイントを押さえながら、注意深く実験・観察に取り組みましょう。

### ③「五感」で学び、気付いたことはメモをする

実験や観察の結果は教科書を見れば書いてあります。インターネットで探せば答えが出てくるかもしれません。しかし、結果以外に気付いたこと(におい・音・手触りなど)は実際に実験や観察をした人にしか分かりません。目に見える物だけでなく、鼻や耳、皮膚などを使って気付いたことをメモするようにしましょう。

### ④ 家庭学習をする(特に復習)

サッカー選手がサッカーボールをひたすら蹴るように、アイドルがダンスや歌を体で覚えるように、何かを習得するには「反復習」をするしかありません。勉強で言えば、それは家庭学習です。授業で学んだことを家に帰ってもう一度思い出し、書き出すことがとても大切です。



---

# 音楽科の学習

---

## 1 目標

- (1) 曲から感じられるイメージと音楽の要素との関係，曲の背景との関係を理解する。
- (2) 日本やさまざまな国の音楽を聴き，多様性を理解する。
- (3) 曲にあった歌いかたや楽器演奏のしかたを身につける。
- (4) 他の人と合わせて歌ったり演奏したりすることができるようにする。
- (5) 音の特徴，音のつながりや重なり，繰り返しや変化による構成を生かした創作のしかたを身につける。
- (6) 音楽の要素による効果を感じ取りながら音楽表現を工夫できるようにする。
- (7) 主体的・協働的な音楽活動の体験を通し，音楽に親しんでいく態度とより良いものを求める態度を身につける。

## 2 学習内容

- (1) 表現
  - 歌唱…曲想と音楽のしくみや歌詞との関係 曲にあった発声や言葉の発音のしかた  
他の人と合わせて歌うこと 歌唱表現を工夫すること
  - 器楽…曲想と音楽のしくみとの関係 曲にあった奏法  
他の人と合わせて演奏すること 器楽表現を工夫すること
  - 創作…音そのものの特徴 音のつながりかた 音の重なりかた  
繰り返しや変化による構成のしかた 創作表現を工夫すること
- (2) 鑑賞 …曲想と音楽のしくみとの関係 曲や演奏のよさ さまざまな音楽表現の比較  
生活や社会における音楽の役割 音楽の特徴とその背景 他の芸術との関係  
日本やさまざまな国の音楽
- (3) 共通（表現と鑑賞で共通しての学習事項です。）  
…音色やリズムや速度や強弱などの音楽の要素 音楽の用語や記号

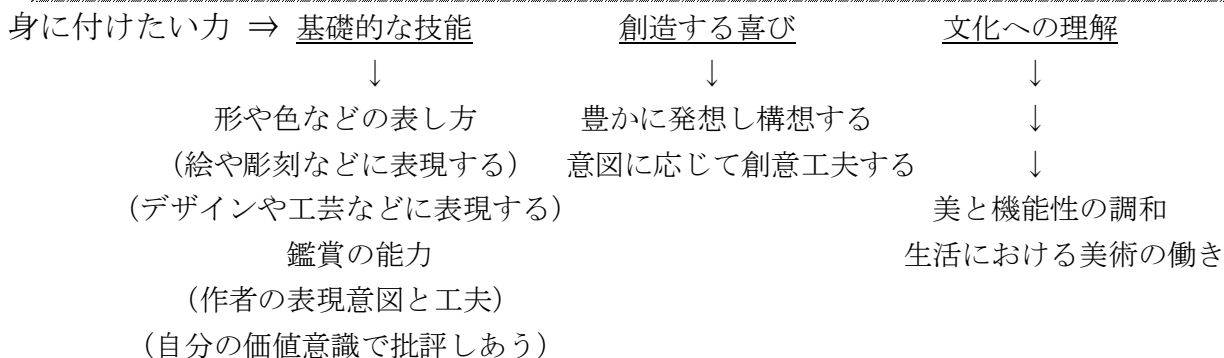
## 3 学習のしかたと評価の方法

- (1) 学習のしかた
  - 音色やリズムや速度や強弱などの音楽の要素とそのはたらきについて理解する。
  - 曲の背景について理解する。
  - 音楽表現の工夫について自分の考えをもつ。
  - 歌唱や器楽や創作の力を身につける。
  - 積極的に発言や演奏発表をする。
- (2) 評価の方法（テストだけではなく，毎回の授業への取組も評価します。）
  - 筆記テスト
  - 歌唱と器楽の実技テスト
  - 創作作品を評価
  - ワークシートの記入内容を評価
  - 授業中の発言や発表の内容を評価 等

# 美術科の学習

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

(中学校学習指導要領「美術」の目標より抜粋)



学習活動 ⇒ 表現活動と鑑賞活動

表現活動の具体 ⇒ 絵、彫刻、デザイン、工芸など。

「描く活動」と「つくる活動」。映像メディアの積極活用。スケッチの学習によって「見る力や感じ取る力」「考える力」「描く力」を育てたい。

鑑賞活動の具体 ⇒ 日本及び諸外国の美術の文化遺産、生徒の作品、アジアの文化遺産など。

1 学年 ⇒ 対象を深く観察する力を育て、基礎的な技能から多様に表現する方法を身につける。

2 学年 ⇒ 感性や想像力をいっそう深め、独創的・総合的な見方・考え方を創意工夫して表現する能力を伸ばす。

3 学年 ⇒ 内面的価値を感じ取る力と、【美】の概念や表現手法の多様性を知り、柔軟性のある発想をもって自己表現をする。

1 年 ⇒ 自然観察	2 年 ⇒ 考えやイメージ	3 年 ⇒ 内面的表現
------------	---------------	-------------

学習に際して ⇒ 知的財産権や肖像権への配慮。

事故防止。

学校図書館や、美術館・博物館等の利用。

評価について ⇒ 造形を通して身に付けた知識や技能を、活かそうとしているか。

主題に沿った発想や構想を基に、表現しようとしているか。

学習に意欲的に取り組み、心豊かな生活を創造しようとしているか。

授業中の取り組みの様子、作品制作過程の様子、作品への表現力 等から総合的に見取っていきます。



# 保健体育科の学習

## 充実した学習にするために

### \*体育分野\*

#### ◎ 目 標

- 1 運動の楽しさや喜びを味わうことに向け、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践しよう。
- 2 適切な運動で体力を高め、心身の調和的発達を図ろう
- 3 運動への愛好的態度を育もう。

#### ◎ 内 容

- |          |        |
|----------|--------|
| A 体づくり運動 | E 球技   |
| B 器械運動   | F 武道   |
| C 陸上競技   | G ダンス  |
| D 水泳     | H 体育理論 |

#### ◎ 目 標

- 1 個人生活における健康・安全について理解しよう。  
**\*保健分野\***
- 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育もう。



#### ◎ 内 容

- (1) スポーツの多様性
- (2) 健康な生活と病気の予防
- (3) 心身の発達と心の健康

以上の目標を、学習内容によって達成するために、年間105時間の「保健体育」の授業に目的意識を持って意欲的に参加しよう！また、学んだことを日常生活に活かそう！

#### ◎評価について

- 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けているかなどを評価します。
- 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題や目的に応じた運動の取り組み方や組み合わせ方を工夫しているか。また、健康に関する課題を発見しその解決を目指して科学的に考え判断しているかなどを評価します。
- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしているか。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復について学習に自主的に取り組もうとしているか等を評価します。

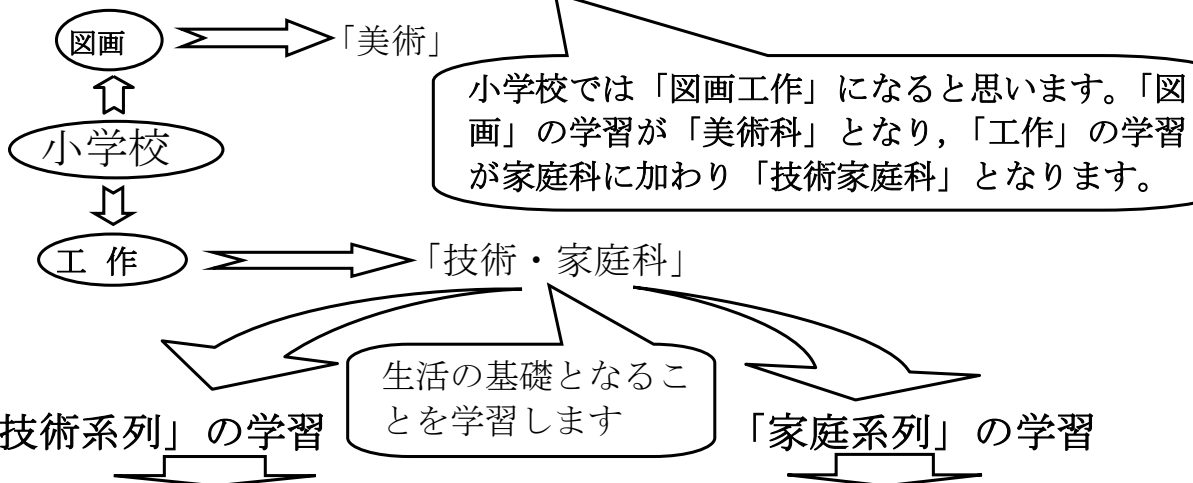
### ☆ 家庭で取り組んで欲しいこと ☆

- ・体力づくりのひとつとして、できるだけ徒歩か自転車で登下校しましょう。
- ・バランスの良い食事を心がけましょう。
- ・規則正しい生活習慣と、早寝早起きで睡眠時間を確保しましょう。

**健康の三原則は、運動・食事・休養**です。

# 技術家庭科の学習

「技術家庭科」とはどんな教科だろう。



- 「技術系列」の学習
- A・材料と加工の技術
  - B・生物育成の技術
  - C・エネルギー変換の技術
  - D・情報の技術
  - \* 「2つとない自分の作品製作など」

- 「家庭系列」の学習
- A・家族・家庭生活
  - B・衣食住の生活
  - C・消費生活・環境
  - \* 「調理実習などもあります」

実習（作業）中心の教科です。

作品も自分の考えを入れながら工夫した作品を製作してください。

生きる力を育てる

## 自立する

みんながこれから自立していくためには、他教科の授業とともに、技術家庭科の授業も大切になります。家で自分一人のときに、お腹がすいたら自分で料理をしなければなりません（家庭系列）。夜、停電で真っ暗の部屋の中であなたはどうしますか（技術系列）。いろいろなことが家庭では起こりますが、技術家庭科で学習したことが役に立ちます。

## 「技術家庭科」授業での約束事

1. 毎時間の授業を大切にしましょう。休むことがないように体調管理をしっかりしましょう。
2. 忘れ物をしないようにしましょう。実習作業が中心の授業です。授業に必要な物を忘れると授業や作業が進みません。また、ケガには十分注意しましょう。
3. 苦手な教科であっても、一生懸命に取り組みましょう。取り組む姿勢が大切です。
4. 日頃から「なぜ、どうして」と疑問を持ちましょう。興味・関心が高まり学習がさらに深まります。

## 「評価」について

### 観点「知識・技能」

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているか。

生活と技術との関わりについて理解しているか。

### 観点「思考・判断・表現」

生活の中から問題を見つけて課題を設定し、その解決を目指して工夫しているか。

### 観点「主体的に学習に取り組む態度」

生活や技術に関する知識・技能を身に付け、生活を充実向上するために主体的に実践しようとしているか。

⇒ 3つの観点を授業・実習、ワーク・プリント・レポート、テスト等で評価します。

# 英語科の学習

## 英語を学ぶ心構えについて

### 【 英語科の目標 】

皆さんは日本語ができれば生活できる国に住んでいます。他の言語を学ぶことで見えてくるものがたくさんあります。小学校でもやっていたように、中学校でも、英語で自分のことを伝えたり、相手のことを理解したりできるよう、さまざまな活動をしていきます。英語が「伝わった」「わかった」という喜びを積み重るとともに、人の意見や異文化に対して「こんな違いがあるんだ」「もっと知りたい」という好奇心をふくらませていってほしいと思います。英語の学習を通して、世界観や視野が広がり、幅広い考え方ができるようになることを目指します。

- 1 英語を聞く、話す、読む、書くことを通して、単語や英文法といった知識とともに、自己表現に必要な力を養います。
- 2 課題に対して自分なりの考えを持ち、その考えを間違いを恐れずに表現をする力を養います。
- 3 目標達成に向けて主体的に学習を深めたり、積極的に表現したりする態度を育てます。
- 4 異文化に対する理解を深める。

### 【 学習するにあたって気をつけたいこと 】（授業のルール）

- 1 あいさつや発言、音読の声は大きくしよう。
- 2 先生や友達が話している時はしっかり聞こう。
- 3 間違いをおそれずに、積極的に授業に参加しよう。
- 4 与えられた課題(宿題)は必ずやってこよう。

### 【 授業で目指すところ 】

- 1 先生や友達が話す内容を聞いて理解できる。
- 2 英語の文章を読んで内容を理解できる。
- 3 自分の思いや考えを話したり書いたりできる。
- 4 身近な話題について、英語を使って人とやりとりができる。

### 【 評価方法 】

英語の文章を読みとる力、書く力、英語を聞き取る力、話す力（やり取り・発表）といった5つの力を、下の①～③のような内容で評価します。そのほかに、授業や課題に取り組む姿勢も評価します。

- ①定期テスト、小テスト（ペーパーテスト）等
- ②パフォーマンス（話す・書く等）のテスト 等
- ③授業や課題に取り組む姿勢（ねばり強く、意欲を持って取り組んでいるか 等）

### 【 学習するにあたって家庭学習で行いたいこと 】

- ★第1段階 授業で学習したポイントを、自主学習ノートに書く。
- ★第2段階 教科書の基本文や新しい単語を、覚えられるまで言ったり書いたりしたりする。
- ★第3段階 教科書の文章をスラスラ音読できるようにし、口に出しながら本文をノートに書く。
- ★第4段階（この段階まで行ける人は、参考にしてください）
  - ・ワークの問題をノートに解き、間違えた問題は、理解して間違えなくなるまでくり返し解く。
  - ・教科書本文を暗唱し、見ないで書けるまで書き取り練習をする。
  - ・英検にチャレンジする。そのための勉強をする。 . . . など。

以上のことを日常的にやると、テスト前にあせらなくても力がついているはずですよ。

英語はふだん使わない言葉なので、自分で意識して学習時間をつくらないと、なかなか身につけません。教科書などを使って、**繰り返し口に出す！書く！**のがポイントです。これをしていると、だんだん英語の語順のルールや、スペルと音の関係が理解できてきます。英語ができるようになるにつれて、あなたの世界は大きく広がっていきます。それを楽しみながら、英語の学習をがんばりましょう！

---

# 道 徳

---

道徳の時間は、さまざまな観点から【人間としての生き方】について考えます。周りの人達の考え方にも触れながら、全ての人がよりよく生きるために考えを深める時間です。

道徳の時間は年間35時間あります。一年間で、次にあげる項目すべてについて授業で取り扱います。

**A) 主として自分自身に関すること**

- ①自主, 自律, 自由と責任                      ②節度, 節制                      ③向上心, 個性の伸長
- ④希望と勇気, 克己と強い意志              ⑤真理の探究, 創造

**B) 主として人との関わりに関すること**

- ⑥思いやり, 感謝              ⑦礼儀              ⑧友情, 信頼              ⑨相互理解, 寛容

**C) 主として集団や社会との関わりに関すること**

- ⑩法やきまりの遵守, 公德心              ⑪公正, 公平, 社会主義              ⑫社会への参画, 公共の精神
- ⑬勤労の尊さと意義              ⑭家族愛, 家庭生活の充実              ⑮よりよい学校生活, 集団生活の充実
- ⑯郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度              ⑰自国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度
- ⑱国際理解, 国際貢献

**D) 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること**

- ⑲生命の尊さ              ⑳自然愛護              ㉑感動する心, 畏敬の念              ㉒よりよく生きる喜び

上に掲げた、ものの見方, 考え方, 思うこと, 行うことなどは, 学校生活全体, また毎日の家庭や地域での生活の中で学んでいるものです。道徳の時間は, そのような学びを総合して考える時間であると言えます。

---

## 総合的な学習の時間

---

教科や特別活動で学んだこと, 日々の生活から学んだことなど, さまざまな学びを総合していく時間が「総合的な学習の時間」です。中学生として「学びの総合」をするというわけです。

具体的には, 「国際理解」「情報」「環境」「福祉・健康」「職業調べ」「防災教育」などや, 「地域・学校の特色に応じた学び」「職業や自己の将来に関する学び」「生徒の興味・関心に基づく学び」など, 多彩に考えられます。大切なことは, 自分自身で課題意識をもつこと, 協力して課題を解決しようとする, 自らすすんで学ぶこと。また, 体験的に学ぶことによってより深い学習になっていくと思います。

本校では,

- 1 学年【身近な地域についての学習をとおして, 課題意識をもつ】
- 2 学年【体験や調べ学習をとおして, 自分の生き方や進路を模索する】
- 3 学年【体験や今までの学習をとおして, 自分は社会にどう関わるべきかを考え, それをどう発信していくか提言としてまとめる】

の流れで学習し, 自己の生き方を考える機会としています。具体的には,

- 1 学年【環境問題, 自然体験, 福祉講話, 職業調べ, 防災学習】等
- 2 学年【集団宿泊学習, 職業体験, 福祉講話, 日本文化, 防災学習】等
- 3 学年【集団宿泊学習, 日本文化, 福祉講話, 私の提言, 防災学習】等

の問題解決や探究活動に主体的, 創造的, 協同的に取り組んでいきます。

限られた時間を有効に使って、自分は何を学ぼうとしているのか、何について知りたいのかを考えながら学ぶようにしましょう。それには、いろいろなことに興味をもつことが大切です。学校で学ぶのですから、人との交流をたくさんするなかで、自分自身を見つめていきたいものです。

---

## 特 別 活 動

---

学級活動、生徒会活動、学校行事をまとめて、「特別活動」といいます。

**学 級 活 動** ⇒ 週1時間。学級で役割分担を決めたり、日常生活の諸問題の解決に向けて活動したりするほか、給食や清掃、朝・帰りの会などを行う。主として学級担任の先生とともに、自分たちの生活の場を豊かにしていくための活動です。

**生徒会活動** ⇒ 毎月定例で行う委員会活動、こまさと祭への取り組み、合唱祭のための練習、そして部活動。生徒総会や役員選挙などもあります。

**学 校 行 事** ⇒ 入学式や始業式、終業式や卒業式、終了式に離任式というように(式)のつくもの。芸術鑑賞教室や修学旅行、宿泊学習、自然体験学習、体位測定なども計画しています。

いずれにしても、生徒の皆さんの自主的・自発的な活動が期待されます。社会の一員として生きていこうとすると、自治的に活動することが求められます。社会で生きるうえでのルールや作法を学ぶ場だと考えればよいと思います。

### \*学級活動のめあて

クラスの仲間と協力しながら、よりよい学校生活を作っていこう！皆さんは様々な問題にぶつかるかもしれませんが、それらの問題を解決しようとする自主的・自律的な力をつけて欲しいと思います。みんなの生活をよりよくするために約束事も必要になります。みんなで意見を出し合って決めることによって、きまりを守る意味もわかってきます。

### \*生徒会活動のめあて

1年生から3年生までの全校生徒が関わって、白州中学校を良い学校にしていきましょう！学園祭や愛校作業の時などは縦割り班で活動します。学園祭や3年生を送る会など生徒会行事では、いくつかの部門に分かれて仕事をします。上級生はリーダーシップを発揮し、下級生は自分の責任を果たし、お互いに協力しあいながら、行事を成功させていしましょう。

### \*学校行事のめあて

学校には、たくさんの行事があります。生活の節目の行事、保護者や地域の方々と一緒に学ぶ機会、社会で活躍する人を招いて学ぶ機会など、多くの行事をつうじて、自分自身を見つめるとともに全校の仲間や先生方と協力して学校生活を意義あるものにしていしましょう。白州中学校生徒として誇りを持ち、中学生らしい生活をおくりたいものです。

### ☆ どんな心構えが必要かな？

- 1 仲間と協力し、学校行事や学校の諸活動を成功させよう！
- 2 クラスや学校の仲間を大切にしよう！
- 3 より良い集団づくりのための話し合いをしよう！
- 4 進んで行動できる人になろう！

充実した学校生活をみんなでつくっていきましょう！

# 話し合いを充実させるために

楽しい学級，充実した学習をめざして

話し合いでの基本は、「互いが思いやりを持ち，意見を交換すること。」「意見に賛成・反対」であって、「意見を言った人に賛成・反対」ではありません。

## 1 話し合いにおける注意事項

人の話している言葉を，考えながら聞くようにしましょう。

自分が話している言葉を，自分で聞きながら話そう。

相手がどういう意見を持っている人か考えながら意見を言おう。

相手の話の途中で遮(さえぎ)ったり，発言を独り占めしないようにしよう。

## 2 今日から，だれでもできる実践事項

話し合いの基礎は，あいさつから。「あいさつ」はやはり大切です。

呼び名は，「〇〇さん」をつけて。返事は，「はい」「いいえ」に続けて，自分の意見を言おう。

意見や感想の終わりはていねいな言い方で，「〇〇です」「〇〇ます」で。

相手の意見がうまくつかめないときは，「もう一度，要点を言ってください」

Aさんの言おうとすることは，「〇〇〇〇こういうことですか」

Aさんの言ったことに，「賛成です」「反対です。その理由は〇〇だからです」

Aさんの言ったことにつけ加えます。

## 3 積極的に，主体的に努力すれば必ずできる「話の切り出し方」

前の発言に関連させて発言する場合

「今の発言に付け加えたいと思います」

「それに関連して，質問します。」

前の発言に反対して発言する場合

「今の発言に反対です。その理由は」

「今の意見とは少し違うのですが，」

前の発言に賛成して，さらにつけ加えたいとき

「今の発言に賛成です。その理由は」

「今の意見につけ加えて意見を言います」

まとめの発言

「今の意見をまとめますと」

話し合いをすすめたいとき

「意見がないので，〇〇さん，ぜひ発言をお願いします」

「〇〇さんの意見に対して，グループでの話し合いはどうでしょうか」

「これ以上，意見がでないなら採決をしてみてもはどうでしょうか」





# 図書館の利用



## 1. 「白州中図書館」ってどんなところ？

中学生向けの学習に関わる資料や読み物の本が約1万冊あり、どの本も自由に閲覧できます。本を借りる。調べる。勉強する。新聞を読む。考え事をする…。開館時間内なら、いつ来てもいつ帰ってもいいところです。

### (1) 読書センターとして

読書力を育み、読書の習慣化を図る読書活動を推進しています。本の貸し出し、本の予約、購入してほしい本のリクエストも受け付けています。業前の読書「朝読書」もあるので、いつでも読めるように図書館の本を1冊は借りておきます。

### (2) 学習センターとして

全教科の授業で活用されることにより、学習の理解を深めて広げます。授業に役立つ資料を集めて整備し、学習活動を支援します。

### (3) 情報センターとして

学校図書館メディアの中から必要な資料を収集し、そこから有用な情報を選択し、自分なりの考えを入れて組み立て、発信する力を育成します。

## 2. 白州中図書館の利用方法は？

### (1) 利用日時

平日8:30～16:30まで。学校の休日、司書の出張時などは閉館します。

### (2) 貸出冊数・貸出期間

ひとり3冊、2週間まで貸出できます。返却日を守り、もし期間内に読みきれなかったら、貸出延長の手続きをカウンターでします。

### (3) 本の借り方・返し方

- ① カウンターで司書に、借りる本のバーコード面を見せ、「借ります。」と言って、自分の氏名バーコードを指さします。パソコンで貸出処理をします。
- ② カウンターで司書に、返す本のバーコード面を見せ、「返します。」と言って、本を手渡します。パソコンで返却処理をして、司書が本を配架します。

## □読書のための本の選び方□

- ① ◎自分の好きなことや、興味のある分野の本を探す。  
◎友達や先生、家族にすすめられた本から選ぶ。  
◎推薦図書リストや読書案内から興味をもったものを選ぶ。  
◎司書に相談する。

② 実際に本を手に取り、中を見てみる。  
時間があったら、最初の1～2ページを読んでみて、文字の大きさ、文章の感じを確かめる。

③ 「読めそうだな」と思ったら、本を借りる。

読書は、世界を広げ、心を豊かにしてくれます。また、読書の楽しさを知り、読書習慣を身につけることは、一生の財産となります。

小学校のような「図書時間」や中休み時間がない中学校では、自分から図書館に足を運ぶことが大切です。大いに図書館を利用しましょう。

# 保健室の利用について



充実した学校生活を送るためには、心身の健康がとても大切です。

保健室では、学校での急なけがや体調不良、さらに思春期特有の悩みの相談にも対応しながら、学校生活をサポートしていきたいと思えます。ぜひ、ルールやマナーを守り、誰もが気持ちよく利用できる保健室になるようみんなでめざしましょう。

## 白州中保健室はこんなところですよ！

☆体調が悪いとき 西側ドア（体育館寄り）から出入りをしてください。

どのような対応が適切なのか、生徒とともに考えながら決めていきます。自分自身の様子をしっかりと伝えられるようにしましょう。内服薬は使用しません。また、ベッドで休養をする場合は1時間が目安となります。

☆けがをしたとき

家庭でできる範囲の応急処置をします。継続的な処置はおこないません。

☆定期健康診断等の実施

全校生徒の発育状況や健康状態を把握し、必要な治療・精密検査をお知らせします。保健室前の廊下にある身長計は、いつでも自由に使ってください。

☆保健指導

全校生徒の実態にあった保健指導をおこない白州中の健康度アップを目指します。

☆保健関係資料

保健に関する様々なデータや資料を保管しています。

## 保健室利用のルールとマナー

- 1 授業中に来室する場合は、必ず、学級担任か教科担任に伝えましょう。
- 2 保健室に出入りするときは、きちんとあいさつをしましょう。
- 3 保健室で休養している人のことも考えて、室内・廊下では静かにしましょう。
- 4 けが・体調の様子や原因について、できるだけ詳しく伝えましょう。
- 5 刃物等でけがをした場合は、できるだけ止血しながら保健室へ来てください。
- 6 屋外での擦り傷は、外の水道で傷口をよく洗い流してから保健室へ来てください。
- 7 保健室で休養する場合は、養護教諭又は担任の許可を得て、1時間以内とします。
- 8 保健室で貸し出した物品については、大切に使い、その日のうちに返しましょう。ただし、貸し出し用体育着は、家庭で洗濯をしてから返却してください。
- 9 付き添いの生徒は、次の授業に遅れないように教室に戻りましょう。
- 10 保健室内にある備品や薬品等は、無断で使用しないでください。

# 学校給食

## 1 はじめに

学校給食は、生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、日常における正しい食事や望ましい食習慣の形成、食品の生産・流通に関すること、食文化への理解、生成管理に関する知識を身につけるなど、たくさんのねらいを持って健康教育としても実施しています。※現在はコロナ感染拡大防止対策で、学年毎場所が違うが学年毎の場所で以下に準ずる。

## 2 本校の学校給食目標

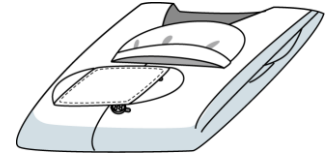
- (1) 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。
- (2) 学校生活を豊かにし、明るい社会性を養う。
- (3) 食生活の改善及び健康の増進を図る態度を身につける。
- (4) 食糧の生産、配分及び消費等に至る流通関係について理解する。
- (5) 食事の正しいあり方を体得して、食事を通して好ましい人間関係を育成し生徒の心身の健全な発達を図る。

## 3 給食の手順

- \* 身支度、準備、配膳、片付けの衛生的、合理的な方法を確認する。
- \* 給食当番は学年ごとで行う。今後、新型コロナウイルス感染症予防対策の緩和状況等により、従来通りの縦割り活動で行う。縦割りで行う場合は、生徒全員が身支度、準備、配膳、片付けを出来るように、3年生が中心となってグループごと指示をする。
- \* 給食当番は、給食着・マスク・帽子をし、特に前髪が出ないようにしっかりと着用する。
- \* せっけんを使い正しい手洗いをする。その後アルコールで消毒をする。

### (1) 具体的活動内容

- 準備 ・給食当番の身支度が出来ているか確認する。  
・せっけんを使い正しい手洗いをする。  
・給食委員会のハンカチ点検を受けてからアルコール消毒をする。




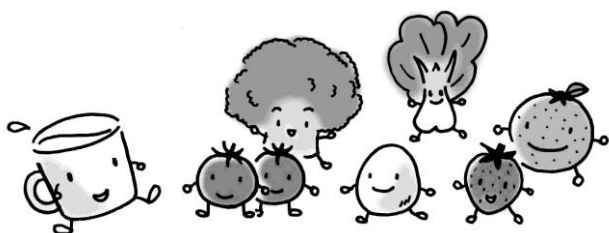
- 配膳 ・グループごとに分担を決めてから仕事に取りかかる。  
・量や数を確認して、ていねいにきれいに全部盛りつける。  
・おぼんやテーブル、食器等を汚していないか確認する。  
・片付けやすいように準備し、配膳に使ったテーブルをきれいにふく。

- 食事中 ・食事中のマナーを守る。

- 片付け ・食べ残したモノは、食缶の中へ、汁物・その他を分け、それぞれ入れる。給食の残りは持ち帰らない。  
・食器はテーブルごとにまとめ食器かごの中に重ねる。  
・テーブルをきれいにふき、いすをあげる。  
・ゴミ箱のゴミと食器・食缶をワゴンからコンテナにのせ、ゴミ箱は片付ける。



	給食当番の活動	一般生徒の活動
食前 20分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身支度を整える。(給食着・マスク・帽子)</li> <li>2. 手を洗い、アルコール消毒をする。</li> <li>3. 分担を決め、配膳する。</li> <li>4. 片付けやすく準備し、配膳中に汚してしまった所をきれいにする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時間になったら、各学年ランチルーム及び所定の場所に移動する。 (今年度、1・3年生はランチルーム、2年生は電子こまさと教室です。) <b>※感染症拡大状況によっては変更もあり。</b></li> <li>2. 手を洗いランチルームに入る。 入り口では消毒をする。</li> <li>3. 全員がそろい、「いただきます」の挨拶まで待つ。</li> </ol>
食事 20分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. その日の献立についての説明を聞き、「いただきます」のあいさつをする。</li> <li>2. 食事をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い姿勢で食事をする。</li> <li>・楽しく、ころよい話題で食事をする。</li> <li>・好き嫌いをせずなんでも食べる。</li> <li>・残さず、時間内に食べられるようにする。</li> </ul> </li> <li>3. 「ごちそうさま」のあいさつをする。</li> </ol>	
食後 5分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーブルごとに食器をまとめ片付けをする。</li> <li>2. 食事をしたテーブルをふき、いすをあげる。</li> <li>3. 食器・食缶などをコンテナに片付ける。</li> <li>4. ゴミをまとめる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーブルごとに食器をまとめ片付けをする。</li> <li>2. 教室に戻る。</li> </ol> 



# 相談室の利用

## 1 はじめに

中学校生活3年間は、心も体も最も成長するときです。学習や部活動、学校での生活や家庭での生活、趣味や将来の職業、進学についてなど、あらゆる面で心を悩ませるのが中学時代です。

中学校生活は、社会に出るための第一歩で、決められたルールの中で、集団の中で自己を磨いていくところです。悩みは、自分一人ではなかなか解決できないものです。解決できる人はいいいのですが、悩み続けている人は、一人で悩まず相談してみましよう。話すだけでも、きっと楽になると思います。とくに学校での悩みは、学校の人に相談した方が解決策が見つかりやすいものです。どんな悩みでも本人にとっては大きな問題です。遠慮せずに下記の相談窓口をご利用ください。

## 2 相談の申込みをしたいとき

担任の先生や学年の先生、部活動の先生に相談の場合

- ・いつでも結構です。直接話しかけてください。また、手紙等でもいいです。
- ・先生から、いつ、どこでということが話されますので、そこで相談してください。

☆相談室として使える部屋 『相談室、こまさと教室、保健室』など

校内の専門の先生に相談の場合

- ・病気やケガ、体のことに関しては、「養護教諭」の先生が保健室にいます。
- ・給食や食生活については「栄養教諭」の先生が月2回程度来校し、給食室や職員室にいます。
- ・趣味や図書関係については、「図書館司書」の先生が図書館にいます。

☆いつでも気軽に話しかけてください。その場で時間がとれない場合は、ゆっくり相談できる時間を約束していきましょう。

スクールカウンセラーの先生に相談の場合（予約制）

- ・毎月2回程度、来校します。くわしい日時は学期始めに配布するたよりでお知らせします。
- ・申込み方法は、担任・担当の先生・養護教諭などをおして連絡してください。
- ・時間が決まり次第、担当の先生からお知らせします。
- ・相談された内容は、「秘密を守る義務」によって、守られます。

## 3 相談の内容は？

どんなことでも結構です。こんなこと聞いたら恥ずかしいと思わずに、まず話してみることで。話したことは秘密として守られます。

学習に関して

- ・予習、復習の仕方がわからない。この本に出ているけど、自分にはできない。
- ・苦手教科の勉強方法がわからない。
- ・時間をかけて勉強しても、少しも覚えられない。
- ・体を動かすことが苦手だが、どうしたらいいのか。

### 進路に関して

- ・将来、なつてみたい職業がない。
- ・この点数で、希望校に入れるのか。
- ・たくさんの資格を取つて将来に役立てたいが、今から取れる資格はないか。
- ・父母の意見と自分の考えが食い違つている、どう説得したらいいのだろうか。

### 身体のこと

- ・平均より背も小さいし体重も少ないのだが、心配はないのだろうか。
- ・体力がないので、部活動をした日はとても疲れるが、どうしたらいいのだろうか。
- ・ニキビがたくさん出てしまった。大人になれば大丈夫なのだろうか。
- ・好き嫌いがあるし、給食も多くて食べきれない。大丈夫だろうか。

### 家庭のこと

- ・最近、母とケンカばかりしてしまうが、やはり自分がいけないのだろうか。
- ・両親の仲が悪い。自分までイライラしている。
- ・兄や姉とくらべられてばかりで気分が悪い。どうにかならぬものか。

### その他、友人つき合いなど

- ・仲のよかつた友達が、最近口をきいてくれない。
- ・人の話し声が気になる。自分のうわさをしているようで落ち着かない。
- ・いま、〇〇さんがみんなから無視されようとしている。なんとかしてやりたいのだが、どうしたらいいのだろうか。
- ・部活動をやめたい。かわりたい。復帰したい。
- ・学級委員長になつてしまつたが、やつていく自信がない。
- ・好きな人のことが気になつて、勉強に集中できない。他の人もそうなのかな。
- ・その他、どんな相談でも応じます。

**だれからのどんな相談であっても、その内容は【秘密事項】として守られます。**  
**保護者の皆さんの相談にも応じます。さらに、学校以外の相談機関もありますので、**  
**お気軽にお問ひ合わせください。**



# 家庭学習の取り組みについて

## 目標をもって、毎日家庭学習に取り組みましょう

「子供たちの確かな学力の育成のためには、また、将来の自立に向けた主体性や自主性を育むためには、子供たちが自ら進んで学習に取り組む習慣を身につけることが大切」です。（山梨県教育委員会「家庭学習のすすめ」より）

本校では、家庭学習の成果を毎日記録する取り組みを行います。家庭学習の習慣化を図るとともに、自分自身の日々の学びについて、自ら立てた目標と照らし合わせながら振り返ることで、積み重ねの達成感や学習方法の改善につながると考えています。

<「家庭学習記録」の使い方>

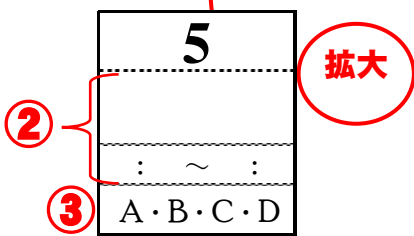
- ① 1か月の学習目標を立てます。  
個人のペースや課題、先月の学習状況に合わせて自由に目標を立てましょう。  
例) 毎日1ページ、自主学習ノートに取り組む。  
毎日1時間以上は勉強する。…等
- ② その日に行った学習の成果と取り組んだ時間帯を書くスペースです。学習の成果はページ数や学習時間など、目標に沿った内容を書きましょう。
- ③ 目標と照らし合わせて、1日の家庭学習について振り返ります。当てはまる記号を○で囲みましょう。
  - A 目標以上に頑張ることができた
  - B 目標を達成することができた
  - C 目標達成まで届かなかった
  - D 全く行わなかった
- ④ 1か月の家庭学習について、目標と照らし合わせながら振り返ります。どのようなことを頑張れたか、または課題として挙げられるか、来月につながるように振り返りましょう。

### 4月の家庭学習記録 ( )年 名前 ( )

① 今月の目標

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
					A・B・C・D	A・B・C・D
3	4	5	6	7	8	9
A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D
10	11	12	13	14	15	16
A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D
17	18	19	20	21	22	23
A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D
24	25	26	27	28	29	30
A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D	A・B・C・D

④ 今月の家庭学習を振り返って



毎日忘れずに記録をしましょう！！



**北杜市立白州中学校**